

視察研修報告

◆総務経済常任委員会

【視察日】

令和元年10月23日～24日

【視察先】（敬称略）

○福島県三春町

○コミュニティ福島

○福島県二本松市

【参加議員】

総務経済常任委員6名

【視察内容】

初日の研修は、福島県三春町にある福島県環境創造センター交流棟（コミュニティ福島）を訪問、東日本大震災後の福島県の現状や放射線・環境問題について体験型の展示や全球型シアター、施設スタッフによる解説により、放射能等への不安や疑問に回答して頂いた。廃炉作業従事者数だけでも1日あたり360人を超えるとの事であった。

なお、施設スタッフの方も実際に被災された女性であったため、その言葉の重みを感じるとともに、原発について改めて考えさせられたところ

である。未だ避難されている方々が故郷に一日でも早く戻ることを切に願う。

2日目は二本松市における六次産業化の取組みについて伺った。まず感じたのは、全国の農林漁業が中心の産業となっている自治体はどこも試行錯誤の中から何とかしたいと努力しているということだ。

二本松市は風評被害の面からもひと際努力されていると感じた。その成果の一例として、「福島地域産業六次化戦略」において二本松市の農園とワイン会社が認定を受けている。

しかしながら、全国の例にもれず後継者問題と耕作放棄地問題で大きな悩みとの事であった。



コミュニティ福島視察訪問

◆厚生文教常任委員会

【視察日】

令和元年11月26日～27日

【視察先】（敬称略）

○アクアマリンふくしま

○福島県いわき市

○宮城県名取市震災メモリアル公園・相馬市伝承鎮魂祈念館

○つくば市

○つくば市

【視察目的】

令和元年7月に本村と筑波学院大学との連携協定を締結し、OCCP（オフ・キャンパス・プログラム）の社会参加活動を本村において展開する運びとなった。本村の今後の教育現場や生涯学習の充実に繋げる取組み方を先進地であるいわき市を視察し参考とする。

また、つくば市の民間企業で開発している、身体機能を改善・補助・拡張・再生することができるとする装着型サイボーグが介護の現場で需要が高まっている。ロボットスーツ装置体験を行い利用方法と価値について検証する。

【参加議員】

厚生文教常任委員6名

【視察内容】

いわき市では、大学等高等教育機関とコーディネーターが密に打ち合わせし、状況に応じて講師・学生が事業に携わる人数が決まり事業の充実が図られている。更に各地区の公民館職員が、地区内の小中学校や企業・団体を足しげく回りそれぞれの意向を的確に拾って、学校側からの提案という形で事業が展開されている。

ロボットスーツは、装着者の生体電位信号を検出し本人の意思に従った動作が実現できる。介護の現場や介護度軽減に有益なものであると確認ができた。



いわき市視察訪問



◆美浦村議会議員会

【視察日】

令和元年11月18日～11月20日

【視察先】（敬称略）

- 兵庫県加古郡播磨町議会
- 京都府与謝野郡与謝野町議会
- 栗東市
- 栗東トレーニング・センター

【視察目的】

本村議会の重視する議会改革の先進地として、前述の2町議会を訪問し、「議会改革の取組み」及び「住民に開かれた議会活動」等について、今後の議会推進の参考とする。

また、日本に二つの日本中央競馬会トレーニング施設設置市村の片翼である栗東市及び栗東トレーニング・センターを訪問した。

【参加議員】 議員11名

【視察内容】

播磨町議会は、開かれた議会方針の中でも、地域との懇談を重視しており、議会報告会を年2日間4会場で開催しているほか、「議会と語るつ会」を随時開催しており、コンパクトシティである播磨町

らしい、住民・議員各々の顔が見える地域密着型の議会活動が特徴的であった。

与謝野町議会では、直近投票率が約70%と非常に高い投票率を維持しており、議会に対する関心の高さに驚かされた。また議会中継に特徴があり、町営でケーブルテレビの配信を行っていた関係で、住民のケーブルテレビ加入率が90%を超えており、これを活用し議会生中継及び録画配信を行っているとのこと。

本村においても、他自治体と同様に投票率及び議会傍聴について大きな課題があり、両町より伺った情報を今後の参考としたい。



播磨町議会視察訪問



与謝野町議会視察訪問

栗東市では、野村市長、藤田議長、田中副議長と面会を行い、日本に二つしかない日本中央競馬会トレーニング・センターの所在する両市村の益々の発展を祈念するとともに、両市村の近況を忌憚なく報告し、今後の村の発展に寄与する情報交換を行った。



栗東市表敬訪問

栗東トレーニング・センターでは、馬房の寝蓐を利用したバイオマス発電施設の視察・見学を行った。

11月1日より稼働となった本施設は、環境対策が徹底されており、一見するだけではバイオマス発電施設とわからないほどであった。

美浦トレーニング・センターでも、バイオマス発電施設が設置される計画であり、環境対策が行われた栗東の施設は地球環境及び地域環境において有意義なものであると確信した。



栗東トレーニング・センター視察訪問

◆龍ヶ崎地方衛生組合

【視察日】

令和元年11月13日～14日

【視察先】

○静岡県富士宮市

○富士宮市衛生プラント

【視察重点テーマ】

「龍の郷・クリーンセンター」
基幹的設備改良工事（第2期）の参考とするため、基幹的改良工事の事例及び工事後の運転管理状況等を調査。

【参加議員】

小泉嘉忠・北出 攻

【視察内容】

富士宮市は、人口約13万2千人、世帯数約5万5千、富士山本宮浅間大社の門前町として発達したまちである。恵まれた自然環境に育まれて生産される多様な食材を活かし、地域の産業振興と市民の健康・幸せづくりを目指そうと「フードバレー構想」を掲げて、職を中心としたまちづくりを進めている。

衛生プラントは平成元年3月に供用開始したが、供用開始後22年が経過した平成23年に、設備・装置の経年的老朽

化が進行していたため、し尿処理施設の長寿命化計画に基づき二酸化炭素削減を目標に約1億8千万円をかけ、電気・計装機器類の基幹的整備を実施、超効率変圧器に変更したことによりエネルギー消費効率が改善され、電気使用量を20%削減し、二酸化炭素排出削減率が目標値の20%に對し、31.8%の削減を実現している。また、処理水の放流先を浄化センターに変更したため、高度処理施設及び消毒設備を休止し、年9百万円の費用削減を実現している。

また、施設職員数は、正職員3名・臨時職員1名であり、運転管理は4名委託で運営している。

徹底的な経費削減がされており、美浦村が加入している龍ヶ崎地方衛生組合においても、さらなる効率化を図ることが重要であることを改めて実感させられた。クリーンセンター基幹的設備改良工事により経費削減が図られることを期待し、有意義なる視察研修の報告とする。

視察のご訪問 ありがとうございました



昨年中多数の市町村議会議員の皆様にご訪問いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

- 山梨県道志村議会
- 茨城県稲敷市議会
- 石川県能登町議会
- 山形県長井市議会
- 埼玉県毛呂山町議会
- 北海道大空町議会
- 福島県湯川村議会
- 宮城県松島町議会